

平塚市監査委員	市川	喜久江
同	井澤	郁人
同	片倉	章博
同	金子	修一

監査の結果について（公表）

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第1項及び第4項の規定に基づく監査を平塚市監査基準（令和2年4月1日施行。以下「基準」という。）に準拠して実施したので、同条第9項の規定によりその結果に関する報告を次のとおり公表します。

記

1 監査の種類及び対象部課

下記の監査対象課の所管に属する令和4年度の財務監査

総務部	行政総務課、職員課
産業振興部	産業振興課
福祉部	高齢福祉課、地域包括ケア推進課

2 監査の実施期間

令和4年10月11日から11月22日まで

3 監査の方法及び監査項目

基準第2条第1項第1号に基づき、財務に関する事務の執行が法令に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているかを主眼として、監査対象を抽出し、書面調査等を実施するとともに、関係職員に説明を求めた。

監査項目

- （1）事務事業及び管理運営事項
- （2）収入事務
- （3）支出事務
契約事務、補助金等の事務
- （4）財産の管理事務
- （5）庶務その他事務

4 監査の結果

基準に準拠して監査した限りにおいての結果は次のとおりである。

総務部

(1) 行政総務課

ア 財務に関する事務の執行について、次の指摘事項については適正に対処されたい。

○ 指摘事項

契約事務において、文書発送事業の委託契約で受託者と協議して作業実施期間を変更したが、その内容が仕様書に反映されていなかった。平塚市契約規則等に則り事務処理の方法を再度確認し、今後の事務執行に当たり適正な措置を講じられたい。

イ 備品の管理事務については、良好であると認められた。

(2) 職員課

ア 財務に関する事務の執行について、次の指摘事項については適正に対処されたい。

○ 指摘事項

契約事務において、職員福利厚生事業の消耗品購入で随意契約の適用条項誤りがあった。平塚市契約規則等に則り事務処理の方法を再度確認し、今後の事務執行に当たり適正な措置を講じられたい。

イ 備品の管理事務については、良好であると認められた。

産業振興部

(1) 産業振興課

ア 財務に関する事務の執行については、適正に行われていると認められた。

イ 備品の管理事務については、良好であると認められた。

福祉部

(1) 高齢福祉課

ア 財務に関する事務の執行については、適正に行われていると認められた。

イ 財産の管理事務については、次のとおりである。

- ・備品の管理事務については、良好であると認められた。
- ・土地、建物の管理状況については、次の表のとおりである。

施設名	監査結果
平塚市高齢者技能センター	良好に管理されていた。

(2) 地域包括ケア推進課

ア 財務に関する事務の執行については、適正に行われていると認められた。

イ 備品の管理事務については、良好であると認められた。

以 上